



広報 みまた

発行・編集 北諸郡三股町総務課 ☎52-1111 発行3月20日 No.276

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめよう。
- 教育を尊び青少年を健やかに育てよう。
- 環境を清潔にし健康の増進につとめよう。
- 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ・鳥 ホオジロ・木 イチョウ

交通安全 今日笑顔でゆずりあい

広報みまた 3月号



スポーツ少年団

三股西野球

土橋君博監督(43才)の指導を受け、26名の団員が、この1年間、植木の三田陶器グラウンドで練習に励んできました。

まもなく6年生が卒業。4月には新たな団員を迎えます。

平成5年
/ 3月号

今月の納税

固定資産税 1期
軽自動車税 全期

滞納しないよう早めに納入しましょう。

口座振替をされる方へ

金してくださいようお願いいたします。
なお、口座引落日は4月25日(日曜日)のため4月26日となります。

四月の町税は「固定資産税(第一期)」と「軽自動車税(全期)」です。口座振替で納入される方は、預金口座の残高を確認しましょう。もし、納入額に満たないときは、4月23日(金)までに入金してください。

預金残高のご確認を!

税務課より

おしらせ



地震・津波に備えよう

地震は突然起こるので、あわてずに行動することが大切です。また、釣りや海水浴など海辺に出かける機会も多いので、津波に対する心構えも知っておきましょう。

- 【屋内で地震を感じたら】あわてずに素早く火の始末戸を開けて出口の確保を。あわてて外に飛び出さない



母子健康手帳

交付場所が 変わります

母子健康手帳は、これまで役場環境保健課で交付していましたが、四月から交付場所が変わります。

交付日 毎月第一・第三水曜日
(休日のときはその翌日)
時間 午前9時30分～11時30分
場所 三股町健康センター
(町立病院南側)

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通りいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしませうと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

納入者	続柄	故人名	地区	金額
渡辺	勝美	父	国市	85 大野 三万円
山元	厚生	母	カツエ	63 前田 二万円
桑畑	早年	妻	ハル	77 上新 三万円
山元	節	妻	エル	66 上新 十万円
時任	アキエ	夫	網雄	88 谷 五万円
山口	ナツエ	夫	久夫	69 前田 三万円
飯田	ユキ	夫	一徳	68 中米 三万円
大田	ヒデ	夫	孝夫	78 山王原 二万円

三股町の人口

平成5年3月1日現在

男 10,430人 出生 16人
女 11,496人 死亡 20人
計 21,926人 転入 102人
前月比 +29人 転出 69人
世帯数 7,276戸(+4戸)

大重	照彦	母	キミ	94 上新 二万円
川崎	征夫	母	フミ	80 東原 二万円
福永	三昭	父	重俊	81 蓼池 五万円
神崎	文江	母	スミヨ	95 梶山 三万円
中村	英邦	妻	シズ	68 田上 二万円
松山	博司	母	ミツエ	78 植木 二万円
古川	秀昭	母	シツ	85 梶山 二万円
廣松	フチ	夫	厚	80 植木 二万円

- 車は道路の左側に寄せて停車すること。離れるときはキーを付けたままにしましょう
- カーラジオの地震、交通情報に注意しましょう
- 【海岸付近で地震を感じたら】まず、海岸から離れること
- ビルの屋上などできるだけ高い場所に移動すること
- 非難するときは、狭い路地、建物や看板の下、塀などに近寄らないようにしましょう



渡り初めをする初森さん親子



テープカットのもよう

依頼を受けて木の切り出しをして、山林の手入れや切り出しに来るのがとても便利になりました。相当な工事費がかかったように聞きましたが、その価値は充分にあると思います。



山王原 本村 五男さん (60歳)

長年待ち望んでいた道路が完成して、こんなうれしいことはありません。役場とか町立病院に行くのが大変便利になったし、それに、高才原に畑や山林を持っている人もいますからね。みんなが喜んでいきますよ。



餅原自治公民館長 山本 春親さん (63歳)

喜びの声

待望の連絡道が開通

三月二日に開通式典

餅原—山王原間



たかぜばる 高才原大橋は町内最長275m

餅原と山王原を結ぶ待望の連絡道と高才原大橋が完成し、その開通を祝う式典が三月二日、関係者など二百人が出席して現地で行われました。

連絡道(山王原—高才原間)は、県営農免道整備事業として昭和六十二年年度から建設工事が進められてきたもので、総事業費は約七億五千万円。道路延長は八百メートルで、幅員七メートルの片側一車線。高才原大橋は町内最長の二百七十五メートル。

通勤時間など短縮

重要な生活路線として機能

これまで町中央部と川北側との連絡は、高才原がある関係で、上流の三股橋や下流の岩下橋などを經由するしかありませんでした。特に、高才原の真北に位置する餅原の人たちにとっては、役場や病院など中央部に出てくる場合大変な遠回り、日常生活に不便を感じていました。

成三年度に完成しており、この農免道の完成によって全線が開通したことになります。今後、農産物の輸送など地域農業の活性化が図られることはもちろん、地域住民の重要な生活路線としてフル活用され、本町の産業経済、文化の進展に大きく寄与していくものと期待されています。



餅原 初森登美子さん (61歳)

親子三代で渡り初めをさせていただきました。父が米寿ですが、

特別なお祝いをしていませんでしたので、大変よい記念になりました。私たちが学生の頃、高才原を抜ける道がありました。七曲がり、で歩くのに大変だったので、みんなトンネルを通って通学していました。こんな便利な道路ができて、本当にありがたいですね。

あなたの声を町政に

福永町長と語ろう

ふれあい行政モーニング・フォーラム

あなたも「あすの三股づくり」に参加しませんか。

今後のまちづくりの進め方や三股町の将来像など、皆さんのユニークなアイデア、建設的なご提言をお聞かせください。

フォーラムには、どなたでも参加できます。大勢の方のご来場をお待ちしています。気軽な服装でどうぞ。

記

- 1. 日時 4月20日(火) 午前7時~8時
- 2. 場所 役場4階会議室

ふるさとへの便り



佐澤 栄一 (下新出身)

沖水川・岩下橋から見る鰐塚山や霧島山の雄大な眺めは幼心に故郷のシンボルとして、我が心につまでも強く映えている。

永年勤めた職場を退職し、(財)全国建設研修センターに転職。当センターは、全国の県や市町村、民間の建設技術者等を対象にした専門研修や、一級・二級土木施工管理技士などの国家試験を実施しています。

また、近年の目覚ましい科学革新による技術の高度化、多様化する社会環境、更には激動する国際化時代に対応するため、住みやすい都市や町づくりを担う技術者の人材育成を目指し、欧米における海外研修や外国技術者の受入れ研修等の国際交流も行っており、仕事を通して外国人との接触も度々あります。

一般的に、東南アジア等の人々は貧しく、生活レベルも低いと言われていますが、しかし全てがそうだとはいえません。中には素晴らしい方々も多く、女性の活躍ぶりや見習うべき事柄もいっぱいあります。

我が国で大学卒の女性土木技師が町村役場に就職するとならば、新聞記事やニュースになったりしますが、欧米や東南アジアでは、その数も多く特に珍しいことではありません。

今、東京で実施している二カ月間の国際土木技術研修でも、参加者十名のうち二名は女性で、しかも、そのうちの一人は三人の子を持つ婦人技術者です。彼女はフィリピンの最南、ミンダナオ島の出身で、比国の代表に選ばれたことを大変な誇りと喜びながら、多数の聴衆の前にしっかりと口調で技術論文を発表し、感心させられました。どうして三児の母親が、我が子

ふるさと 故郷への想い

を置いてこのような長期研修に参加できるのでしょうか？聞いてみると、彼女の国では家族の誰かが遠出する時は、親戚や隣人が留守宅の面倒を見てくれると言う。何とも素晴らしい故郷である。日本でも昔はそうであったと思う。

近年、我が国の経済は、特に不動産や株などを中心とした金儲け主義で余りにも急速に発展したために、結果としてバブル経済を生み、それが崩壊した今日、そのツケは大きく、スキャンダルな疑惑や不況下の円高など色々な問題を起こしています。また、日本の貿易黒字は増大しても、国民生活は一向に豊かさを感じないなど不満は募るばかりか、日本の良き伝統や礼儀作法、そして温かい人の心なども次第に失われつつあるように思います。

昨年夏、数年振りに、以前、海外で共に仕事をした友人の故郷を訪ねる機会を得ました。マレーシアでは、盛んに都市開発が進められていましたが、まだ特有のどこかさが残っていました。西オーストラリアの近代都市パースは、郊

外に延々と続く広大な牧場に牛と羊が戯れ、街と田園の自然が調和して美しい絵になる風景でした。彼らの故郷は歴史が浅い故か、家族や先祖、そして地域の文化や自然を大事にしています。旧友の家族と一緒に海鮮料理に舌鼓みを打ちながら楽しく団らんしたり、パース郊外の牧場で家畜を追う牧童を見ている時、ふと、その昔、三股の父達が近所の方々と楽しく酒宴を開いていた光景や、痩せ馬の背に跨り沖水川の堤防を駆け走ったりした、腕白少年時代の頃の事などが走馬灯のように懐かしく楽しく想い出されてきました。のどかな沖水川の河畔から、眺める鰐塚山や霊峰・霧島山も美しく、絵になる風景です。

我がふるさと三股町の人々と風物詩は、世界に誇れる素晴らしい財産であり、故郷であり、その地に生まれ育った日々を追憶するとき、故郷の清閑が新たに甦ってきます。



次号は吉行瑞子さん(下新出身)にリレーします。

あがな 贖いの日々

僕は、現在業務上過失致死傷と道路交通法違反で懲役一年四月の刑を受け、市原刑務所で受刑中の身です。僕自身の心の悩みや葛藤については、これを極力排して事故と事故後の状況を事実そのものとしてありのままに記述したいと思います。

ここに謝罪中懺悔の気持ちを書き連ねた所で、単なる自分自身のカタルシスにしか過ぎないと思うからです。また、この事実をみて他山の石となれば幸いです。

事故内容に入る前に、僕自身の生活歴に簡単にふれたいと思います。昭和四十九年に医大を卒業し、昭和五十二年に結婚して一男一女をもうけ、現在開業して五年目になります。

さて、事故内容ですが、平成二年六月九日午後七時三十分頃から飲み始め、三軒ほどハシゴして、十一時三十分頃アパートに戻り仮眠をとりました。午前三時すぎに目がさめそのまま家にむかって帰る際、首都高速の汐留付近で事故処理中の所へスリップして突っ込

み、二人を高速道路下へ墜落させて一人死亡、一人に重傷をおわたしたほか、三人に軽傷をおわたしたのです。

直ちに逮捕され留置十六日間の厳しい取り調べを受け、酒気帯び及び業務上過失致死傷で起訴されました。留置期間中、妻が連日被害者宅を回ってくれていました。

保釈後、その足で入院中の方二人と、亡くなった方の会社へ出向き謝罪しました。亡くなった方の両親は北海道の方でしたので、翌々日、妻と二人で札幌へ行き焼香させていただきました。二十一歳の独身男性でした。

以来、服役する平成三年三月二十日までに計七回程お邪魔し焼香とお墓参りさせてもらいました。重傷の方一人は、当初ICUに入り生死の境をさ迷う程でしたが、一年三箇月の入院治療の結果、平成三年九月に退院されました。

残された事実

医師 44歳

二十二歳の男性の方で、この方の所には、服役まで四十回以上足を運びました。他の方の所にも御見舞いに出かけましたので、週に二日から三日は、謝罪に出掛ける日々でした。

また、妻と相談の上、任意保険には無制限で入っていました。自宅を売却して謝罪の気持ちをおわすことにしました。自宅は六千万円で売れ、ローンの残債五百万円を除いて、残りを被害者の方達へ支払いました。

この自宅は子供達二人が、生まれ育った所です。妻は気持ちよく同意してくれました。また、ともすれば謝罪に向く足が滞りがちになる自分に対して、「事故はおこしてしまつたのですから取り返しはつきませんが、今後のあなたのとる行動で人間の真価が問われるのです。」と、叱咤激励してくれました。裁判は計三回で結審し、現在服役しております。当然のことながら、服役するに際して開業している病院の院長職を辞職、その他の役職もすべて辞しました。また、服役中の十月に医道審議会が開かれました。その結果、訓戒処分を受け

ました。この事故で、家を売りました。地位もなくなりました。子供たちの信頼も裏切りました。母や兄弟達に迷惑をかけました。友人や職員達の信頼も裏切りました。妻には、筆舌に尽しがたい屈辱を与えてしまったと思います。しかし、僕は五体満足で生きています。まだ人生取り返しのつく年齢です。幸い、家族の僕に対する愛情がまだ残っていますから、まだまだ頑張れます。

ただ、最後に残った事実は、二十一歳の男性を死なせてしまったことと、二十二歳の男性を身障者にしてしまったことです。今後、僕がどのように生きようと、この事実は消えないということなのです。



読書感想文の紹介

平成4年度読書感想文コンクールの入選者については、先月号でお知らせしました。今回は、最優秀作品の中から、1年生と3年生、5年生の感想文を紹介します。

「とべないホタル」を

読んで

三股西小三年 曾根崎 弘嗣
ホタルと言うと、ほくはすぐに

このようなことが思いうかびます。羽をひろげて、おしりのほうからきれいな光を出しながら、ゆっくり空を飛び回っているすがたを。
ところが、この本のホタルの一匹は、光も弱く、空もとべないかわいそうなホタルでした。
この本は、富山県高岡市伏木小学校の六年生の担任の小沢先生が書いたお話です。
小沢先生は、いじめにこまっています。そんな時、生徒たちといっしょに、ホタル狩りに出かけました。そこで飛べないホタルを見て、そのホタルがいじめられている子どもに見えたそうです。

この本の中に出てくる飛べないホタルは、けつして、一人ぼっちではありませんでした。いつも、なかまのホタルが、そっと見守ってくれていたのです。飛べないホタルがつかまりそうになった時、やさしいホタルが自分から身代わりにつかまりました。そのことに気づいた時、飛べないホタルはじーんと体がしびれたようになって動けなくなり大きな涙をこぼしました。そして、他のホタルたちもみんな、自分のことを思ってくれていたことを知って、ほんとうに、うれしかったと思います。
そして身代わりにつかまったホタルは、ひろちゃんという女の子の部屋にはなされました。ひろ

ちゃんは、足が悪くて外に出ることができないのでホタルを見に行くことができなかったのです。
ホタルがいっしょけんめいに飛んで、おしりを光らせると、ひろちゃんもうれしそうにホタルを見ていました。とてもやさしいホタルだと思いました。
ほくは、思いやりとか、やさしさとか、すぐにわすれてけんかをすることがあります。
一人一人が、やさしい気持ちを持っていたら、いじめられてさみしい思いをする人もいなくなると思います。
ほくも、このホタルたちのような、やさしい気持ちが持てる人になりたいと思います。

うのが、ほかのことでは決して体験できないような、少し違った喜びを味わうことができるところがいいなあと思います。それから、考えの段階が一つ上がって、何か製作をするなら、大規模な建物などを建設してみたいと思うようになってきました。
このように、どんどん希望をふくらませて、現在にまで至っています。
そこで、自分の将来の希望をかなえるために、どの高校へ、どの学科に進もうかと、真剣に考えて

きました。その進路とは、一言で言うと、普通科へ進み大学進学を目指すことです。この理由は、自分の持っている力が、十分に生かしていけるようなところに進みたいということと、進路相談で聞いたことだけど、高校卒業で就職するより、大学卒業で就職した方が後々、有利であるという点を少し取り入れて、この進路を希望しようと思っています。
この進路を決めるまでにいろいろと考え、悩んだこともたくさんありました。それは、高校の資料

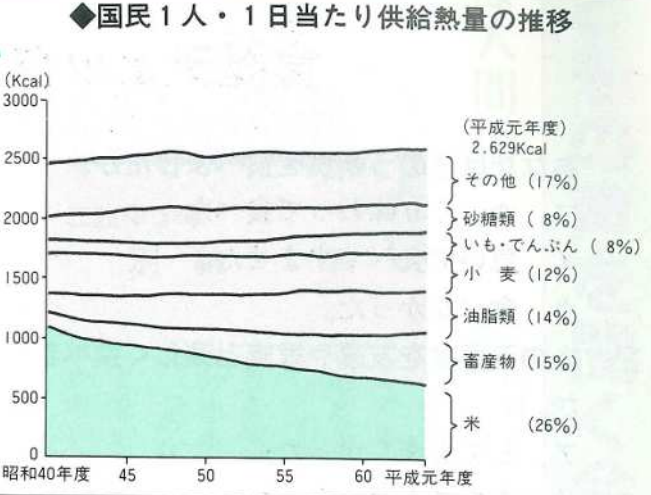
や、先輩から後輩へのアドバイスのメッセージを読んだりしているのと、テストなどで赤点を取りすぎるとその学年をやり直さなければならぬ、というような現実の厳しさや、このことに対して自分の考えが甘かったことを知ったときは、このままではいけないと感じて、高校に入ってからのことなど、たくさん自分のことを考え直したことがあります。
先輩からのメッセージには、普通科は進学を目標としているのだから、厳しいことを覚悟して来な

ければならないと、書かれていました。しかし、次に、こう書いてありました。表があれば裏もある。この言葉を読んだとき、どの学科へ進んでも、厳しいことがあれば、楽しいことも同じくらいあるんだらうと思ひ、ほっとしました。
今、この時期は悩みごとが一番多い時期かも知れない。しかし、進路もほぼ決めていっているのだから、この不安などを乗り越えて、目標に向かって勉強していくことが第一の課題だと思っています。

食生活に占める米の地位

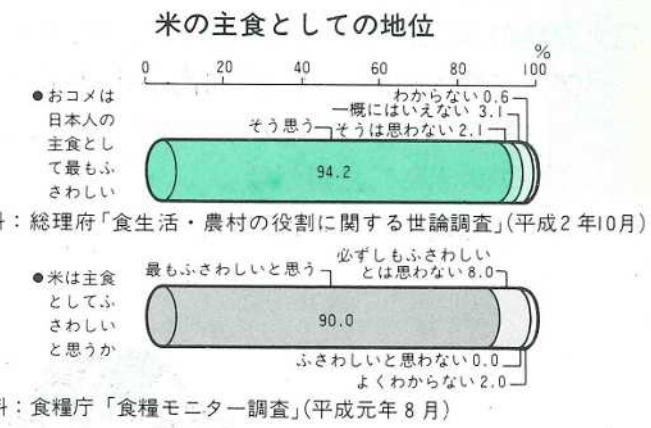
消費量は1人年間約70キログラム

米は、わが国の長い歴史の中で、日本人独自の食文化を築き上げてきました。しかし、所得水準の向上に伴い、畜産物や、油脂類などの消費が増えて食生活は多様化し、米の消費量は年々減少して、平成元年度の国民1人当たりの消費量は70.1キログラムと、ピーク時(37年度)の約6割にまで減っています。



米は日本人の主食

米の主食としての地位については、いろいろな調査をみても、大半の人が「米は主食として最もふさわしい」と回答しており(例えば、総理府「食生活・農村の役割に関する世論調査」では94%、食糧庁「食糧モニター調査」では90%)、米は日本人の主食であると認識が根強いことを示しています。



お米の良さのPR

食糧庁においては、栄養バランスがとりやすく、健康にもよいお米を中心とした日本型食生活を広く維持定着させることを基本として、健康的な食生活の推進のための正しい知識の普及、地域における米消費拡大対策への支援、米飯学校給食の推進、米新加工製品の開発・普及などを行ってきました。

今後も、引き続き、このような対策を実施していくとともに、都道府県、生産者団体の行う事業と連携しつつ、消費者団体等の協力を得て、更に消費拡大対策を充実・強化することとしていま

す。この一環として、平成3年1月には日本医師会の共催を得て我が国の医学界の各分野を代表される専門家の方々によるシンポジウム「お米・健康サミット」を開催し、医学的・栄養学的観点からお米を中心とした日本型食生活の良さ、重要性について訴えました。

また、平成3年3月には、お米に関する情報の受発信基地として「お米ギャラリー」を東京の銀座と同練馬区光が丘に開設し、情報の収集・提供、食生活診断・栄養指導などを行いつつ、お米の良さを広く国民にPRしていくこととなりました。

「ほたるのはか」をよんで

三股西小一年 小山田 まり
「おかあさん。」とよぶとき、わたしのそばにはおかあさんがいます。だから「おかあさん。」とよぶといつでもはなしができて、いやなことかなしいこともふきとんでいきます。

でも、せつこちゃんによぶ「おかあちゃん。」のことはからは、かなしいきもちになるだけでした。おかあさんがせんそうでしたからです。
わたしよりも三つもちいさいせつこちゃんは、とつてもさみしかつただろうな。もしおかあさんがいきていたら、どんなはなしをしたのかな。わたしがぶらんこやおにごっこでたのしかつたことをはなすみたい、あそんだことをおはなしするのかな。

さみしがっているせつこちゃんをいつもおにいさんのせいたがめどうをみて、げんきがでるようになっています。くらいごうのなかにたくさんのほたるをはなして、せつこちゃんをよろこばせたのもおにいさんです。わたしはほたるをテレビでしかみていないのでほんとうのあかるさはわからないけど、きつとクリスマスツリーのでんきみたいにきれいだったとおもいます。せつこちゃんがよろこんだとき、わたしもうれしくなりました。

りました。

そして、おにいさんはやさしいなとおもいました。わたしはこんなおにいさんがほしいです。せつこちゃんみたいないもうともほしいです。ひとりこのわたしは、なかのいいふたりがとつてもすてきだなとおもいました。せつこちゃん、おにいさんがいてほんとうによかつたね。

「半日村」を読んで

宮村小五年 福元 智美
みなさんは、半日村という本を読んだことがありますか。私は、半日村を読んでとても感動しました。

この本は、四年生の時、たんにんの佐藤先生がよんでくださった本です。そのころ、私たちのクラスは、いじめやさべつがあり、このままではいけないと読んでくださったのが半日村でした。
内容は、こんなふうです。
半日村は、山が高く一日の半分しか日があたりませんでした。その村の、一平という子どもがふくろに山の土を入れてみずうみにざあとあけ、山をひくくしようとしています。

おはかにはいつてんねやろ。」と

いったところをよんだとき、とうとうなみだがでてしまいました。おにいさんもないていました。ほたるがしんでくなくなったごうのように、くらいかんじになりました。

ほたるがあつというまにしんだように、せんそうでいんげんもしんでしまいました。たべものがなく、せつこのからだじゅうにしつしんができて、おにいさんのせいだがやつともつてきたスイカをたべながらしんでしまいました。せいたもやせおとろえてしんでしまいました。

最初は一人でやっていたましたが一人、二人がてつだいだし最後には、村人全員がてつだい出し、何年もかかり山を半分にし、一日村になるというお話です。

私は、このお話のみなで力を合わせて山をひくくしていく、というところにとてもかんげきし、感動しました。

最後に朝日がのぼるところなどは、なみだが出てくるほどこの本にひたつてしまいます。まるで、このお話の中にすいこまれていくように。

みんなも感動したのかは分かりませんが、私たち四年生は学習発表会で、この半日村を演じることになりました。
大きながようしに、山の絵をかき、朝日の出た場面も書きました。

いました。

いえがやけたり、たべるものがなくなつて、たくさんのひとがしんだりするせんそうは、せつたいしてはいけないとおもいました。しんだせつこちゃんとおにいさんは、てんごくで「おかあちゃん、おかあちゃん。」と、うれしそうによびながら、おかあさんやおとうさんとたのしくくらし

ています。
私は、この本を読み、実際に演じるとともに、力を合わせるということをお伝えしました。さつきも言いましたが、山をひくくするなんて、よほど、一人一人ががんばらなければできないことだと思

います。また、この本をげきで演じるといふことも、みんなで力を合わせるということなのかもしれせん。
いじめやさべつも四年生のうちになくなりまし

た。
こんな思い出は、宮村小学校に転校し、五年生になった今でも心にのこる本です。一生わすれないかもしれせん。
私は、みなさんにも、力を合わせて何か一つのことをやりとげた時のうれしさを半日村の人々のように味わつてほしいと思います。



だより (第75号)

ぶどうの会 会員募集

ぶどうの会は、「本と子育てを楽しむ会」として、母親が中心となり活動しています。現在、毎週水曜日、午前十時三十分から午前十一時三十分まで、就園前の幼児への絵本の読み聞かせと、町ふるさとまつりでの本の交換会、図書館主催の幼児教室への参加など、会員みんなで楽しくやっています。
また絵本作家の講演会などの情報が入り次第、毎週行っている読み聞かせの場でお母さん達にも積極的に声を掛けています。
平成五年度のぶどうの会では、新しく人形劇の人形の制作や、親と子で童謡を楽しんだりする計画も立てています。

現在会員は六名で、しかも一人は秋に産休をとる予定だったり、子育て真最中の母親ばかりです。我が子の誕生とともに、知らず知らず絵本に興味をもった素人ばかりで、それでも仲間です。試行錯誤を重ねるうちに、いつの間にかパネルシアターや、ペープサート、紙芝居、手あそび等覚えていきました。
母と子のふれあいの一番大事な幼児期こそ、美しい日本語や、表

新刊図書のお知らせ

町立図書館では、次の図書を入手しました。ぜひ、ご利用ください。

【一般向】
みやぎの巨樹一〇〇選 宮崎県緑化推進機構

驟り雨 藤沢 周平
女ひとりロンドンを駆ける 古勝 信子
明け方の夢上・下 シドニイ・シェルダン

ひねくれ一茶 田辺 聖子
橋のない川 第七部 住井 すす
とりに残されて 宮部みゆき
こころの手足 中村 久子
脳死移植 中村 久子

NHK「脳死」プロジェクト
文字の文化史 藤枝 晃
ザ・スペースエイジ2・3巻 NHK取材班

触れもせで 久世 光彦
清貧の思想 中野 孝次

【小・中学生向】
いじわる魔女のさんすうえほん全十巻 長崎 武昭
おぼけ列車 山下 清三
キツネと山伏

テングのとつくり 山下 清三

舌長ばあさん 赤鬼の大あばれ 文芸まんがシリーズ
源叔父・春の鳥 嵐・分配 武井 直紀
友情 武者小路実篤
赤ひだ山の大ぐま 三人とんまかぞえうた 木島 始

おおかあさんのベレーぼう はてなのおにえもん 吉田比砂子
ちろも一ねんせい 黒木まさお

【幼児向】
タンゲくん 片山 健
石のししものごたり 大塚 勇三
きつねのしつぱい 小沢 正
はまひるがおのさくうみ 土田 明子

そのたべかたおしえましよう ポポロくんのせんたくやさん 寮 美千子
きつねのたんこぶ 小沢 正
ヤギとライオン 内田莉沙子
おさんほしましよ 井上 洋介

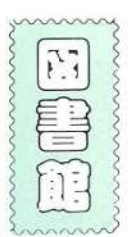


「ほたるのはか」をよんで

三股西小一年 小山田 まり
「おかあさん。」とよぶとき、わたしのそばにはおかあさんがいます。だから「おかあさん。」とよぶといつでもはなしができて、いやなことかなしいこともふきとんでいきます。

でも、せつこちゃんによぶ「おかあちゃん。」のことはからは、かなしいきもちになるだけでした。おかあさんがせんそうでしんだからです。

わたしよりも三つもちいさいせつこちゃんは、とつてもさみしかつただろうな。もしおかあさんがいきていたら、どんなはなしをしたのかな。わたしがぶらんこやおにごっこでたのしかったことをはなすみたいに、あそんだことをおはなしするのかな。



だより (第75号)

ぶどうの会 会員募集

ぶどうの会は、「本と子育てを楽しむ会」として、母親が中心となり活動しています。現在、毎週水曜日、午前十時三十分から午前十一時三十分まで、就園前の幼児への絵本の読み聞かせと、町ふるさとまつりでの本の交換会、図書館主催の幼児教室への参加など、会員みんなで楽しくやっています。

現在会員は六名で、しかも一人は秋に産休をとる予定だったり、子育て真最中の母親ばかりです。我が子の誕生とともに、知らず知らず絵本に興味をもった素人ばかりで、それでも仲間で試行錯誤を重ねるうちに、いつの間にかパネルシアターや、ペープサート、紙芝居、手あそび等覚えていきました。

りました。

そして、おにいさんはやさしいなとおもいました。わたしはこんなおにいさんがほしいです。せつこちゃんみたいないもうともほしいです。ひとりっこのわたしは、なかのいいふたりがとつてもすてきだなとおもいました。せつこちゃん、おにいさんがいてほんとうによかったね。

「半日村」を読んで

宮村小五年 福元 智美
みなさんは、半日村という本を読んだことがありますか。私は、半日村を読んでとても感動しました。

この本は、四年生の時、たんにんの佐藤先生がよんでくださった本です。そのころ、私たちのクラスは、いじめやさべつがあり、このままではいけないと読んでくださったのが半日村でした。内容は、こんなふうです。半日村は、山が高く一日の半分しか日があたりませんでした。その村の、一平という子どもがふくろに山の土を入れてみずうみにざあとあけ、山をひくくしようとしています。

おはかにはいつてんねやろ。」と

いったところをよんだとき、とうとうなみだがでてしまいました。おにいさんもないていました。ほたるがしんでくなくなったごうのように、くらくらかんじになりました。ほたるがあつというまにしんだように、せんそうでいんげんもしんでしまいました。たべものがなく、せつこのからだじゅうにしつしんができて、おにいさんのせいだがやつともつてきたスイカをたべながらしんでしまいました。せいたもやせおとろえてしんでしまいました。

最初は一人でやっていたましたが一人、二人がてつだいだし最後には、村人全員がてつだい出し、何年もかかり山を半分にし、一日村になるというお話です。私は、このお話のみんなで力を合わせて山をひくくしていく、というところにとつてもかんげきし、感動しました。

最後に朝日がのぼるところなどは、なみだが出てくるほどこの本にひたつてしまいます。まるで、このお話の中にすいこまれていくように。みんなも感動したのかは分かりませんが、私たち四年生は学習発表会で、この半日村を演じることになりました。大きながようしに、山の絵をかき、朝日の出た場面も書きました。

いました。

いえがやけたり、たべるものがなくなつて、たぐさんのひとがしんだりするせんそうは、せつたいしてはいけないとおもいました。しんだせつこちゃんとおにいさんは、てんごくで「おかあちゃん、おかあちゃん。」と、うれしそうによびながら、おかあさんやおとうさんとたのしくくらししていらつとのおもいます。わたしも、せんそうのないいまのせいかつをおかあさんやおとうさんとたのしくくらしたいです。

私は、この本を読み、実際に演じるとともに、力を合わせるということをお伝えしました。さつきも言いましたが、山をひくくするなんて、よほど、一人一人ががんばらなければできないことだと思つてます。また、この本をげきで演じるといふことも、みんなで力を合わせるということなのかもしれせん。

いじめやさべつも四年生のうちになくなりましつた。こんな思ひ出は、宮村小学校に転校し、五年生になつた今でも心にもこの本です。一生わすれなかつたかもしれません。私は、みなさんにも、力を合せて何か一つのことをやりとげた時のうれしさを半日村の人々のように味わつてほしいと思つています。

新刊図書のお知らせ

町立図書館では、次の図書を入手しました。ぜひ、ご利用ください。

【一般向】
書名 著者名
みやざきの巨樹一〇〇選 宮崎県緑化推進機構

驟り雨 藤沢 周平
女ひとりロンドンを駈ける 古勝 信子
明け方の夢上・下 シドニイ・シエルダン

ひねくれ一茶 田辺 聖子
橋のない川 第七部 住井 すす
とりに残されて 宮部みゆき
こころの手足 中村 久子
脳死移植 中村 久子

NHK「脳死」プロジェクト
文字の文化史 藤枝 晃
ザ・スペースエイジ2・3巻 NHK取材班

触れもせで 久世 光彦
清貧の思想 中野 孝次
【小・中学生向】
いじわる魔女のさんすうえほん全十巻 長崎 武昭

おぼけ列車 山下 清三
キツネと山伏

テングのとつくり 山下 清三
舌長ばあさん 〃
赤鬼の大あばれ 〃
文芸まんがシリーズ 国木田独歩

源叔父・春の鳥 島崎 藤村
嵐・分配 武者小路実篤
友情 武井 直紀
赤ひだ山の大ぐま 武井 直紀
三人とんまかぞえうた 木島 始

おおかあさんのベレーぼう 新 冬二
はてなのおにえもん 吉田比砂子
ちろも一ねんせい 黒木まさお

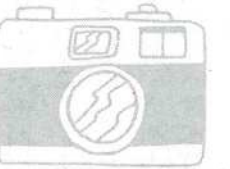
【幼児向】
タンゲくん 片山 健
石のししのもものがたり 大塚 勇三
きつねのしつぱい 小沢 正
はまひるがおのさくうみ 小沢 正

そのらたべかたおしえましよう 土田 明子
はたよしこ 〃
ポポロくんのせんたくやさん 寮 美千子

きつねのたんこぶ 小沢 正
ヤギとライオン 内田莉莎子
おさんほしましよ 井上 洋介



町の話 題



講師に大学教授を招く

第三回生涯学習推進大会



立教大学教授の岡本包治さんを講師に招いて、第三回生涯学習推進大会が二月二十八日三股町中体育館で開かれ、関係者五百名余りが参加しました。

大会は、「新しい風 三股町の生涯学習」をテーマに開いたもので、生涯学習を通して住みよい地域づくりを進めるのがねらい。大会では、まず、青年団活動をしている西山雄治さん(26)と第八地区公民館で手話教室に参加している長友隆一さん(36)が事例発表をした後、アトラクションとして、第七地区公民館と第二地区公民館の教室の受講生が民謡と三

味線を披露しました。続いて講演会に移りましたが、講師の岡本さんは、日本生涯教育学会会長で、文部省の生涯学習クリイティブアドバイザーも務める生涯教育の権威。この日の講演では、いくつかの事例を織り交ぜながら「世の中は常に変化しており、学習しなければ、自分がみじめになる時代が訪れる。そうならないためには、生涯学習するしかない。自治公民館がその場を提供し、町づくり、地域づくりの核にならなければならぬ。」と九十分分にわたって話しました。

九十四チームが熱戦を展開

ミニバレーボール大会

町ミニバレーボール連盟(会長 太田親宏)が主催するミニバレーボール大会が、二月二十八日、武道体育館を中心会場として開かれました。

会場に分かれて熱戦を展開しました。結果は次のとおり(優勝のみ)。

30代	あすなろ	土曜クラブ
40代	レインボー	仲 町
50代	あすなろ	蓼 池



牛の三つ子

二月のせり市



森さんと牛の三つ子

都城家畜市場で二月十五日、三つ子の子牛がせりにかけられ、注目を集めました。

出品したのは蓼池の森正利さん(六十二歳)で、三つ子は昨年四月上旬に生まれたみゆき号、ふみこ号、じょうこ号の雌牛ばかり。牛の三つ子は大変珍しく、畜産課に問い合わせたところ、「町内では前例がないのでは」という話。このためか、三頭が次々に引き出されると、せり人もびっくり。二頭が町内、一頭が県外の肥育農家に買い取られました。

長官表彰旗に輝く

町消防団

全国消防功労者表彰式は、三月三日、日本消防会館のニッショーホールに消防関係者約七百名が出席して開かれ、本町消防団(中村修一団長、団員五百五十名)が消防庁長官表彰旗を受けました。

表彰旗は、消防関係団体に贈られる賞としては最高の賞で、サイズは縦七十五センチ、横一米ートル。紫地に金糸で刺しゅう、縁取りした大変高価なもの。

本町消防団は、機敏な消化活動を行い延焼防止に貢献するとともに、災害の未然防止や行方不明者の捜索、交通安全活動に組織をあ

げて取り組んでいます。また消防操法大会においても、都城支部大会や県大会での優勝は数知れず、全国大会に過去四回も出場するなど、その優秀さは県内でも定評があります。

東高の福元教諭が講演

第一回婦人のつどい

ボランテティア活動とは?

第一回婦人のつどいが、二月十日午前十時から第一地区公民館で開かれ、都城東高校の福元達郎教諭(三十三歳)が「ボランテティア活動」について講演しました。

後、講演会に移りました。

つどいは婦人の積極的な社会参加をうながそうと、町婦人連絡協議会(大村三千子会長)が主催したもので、会員など約百人が参加。一年間の活動実績などを発表した。

講師の福元さんは、教壇に立つかたわら、日赤宮崎県支部の救急法と蘇生法の指導員や東高青少年赤十字の指導者として活躍している人。それだけに、ボランテティアについての講演は体験にもとづいた内容豊富なもので、参加者は講師の熱のこもった話に深い感銘を受けました。

園児に紙芝居を披露



読書の喜びを知ってもらおうと、ぶどうの会(代表、堂領敦子 会員6名)が先ほど町内の幼稚園を訪れ、園児たちに紙芝居や人形劇をプレゼントしました。

ぶどうの会は、乳幼児を持つ母親の集まりで、昭和六十一年の結成。子どもの読書意欲を高めるため、読み聞かせの集いや図書交流会などのボランテティア活動を行っています。

今回は、町内のみまた幼稚園と第一幼稚園のほか、都城の一乃城幼稚園を訪問。自分の子どもを自習室で遊ばせながら、園児たちに紙芝居やパネルシアター、人形劇などを披露しました。



中村団長が町長に受賞報告

